2023

田鶴野地区
地域づくり計画書

発行　コミュニティたづるの

目 次

あいさつ・・・1p

第1章 田鶴野地区の概要・・・2～5p

1. 人口・世帯数の推移

2. 魅力・資源

第2章 計画策定にあたって～現状と課題（アンケート結果より）～・・・・6～7p

1. 現状

2. 課題

（1）課題の抽出

第3章 将来像・・・8p

1. 策定までの流れ

2. めざす姿

第4章 具体的な取組み・・9～11p

1. これからのコミュニティたづるの

（1）新しい組織体制（組織図）

（2）事業計画予定表

参考資料

・ 策定の経過・・12p

・ 策定組織・・・13p

あいさつ

平素より「コミュニティたづるの」の運営に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、平成29年4月の設立から5年が経過し、これまでの実情をふまえ、今まさに今後の10年を見通して、めざす田鶴野地区の将来像を打ち立て、地域の皆様方と一緒に「コミュニティたづるの」として、それに向かっていくべき時期にきていると痛感しています。

そこで、10年後のめざす田鶴野地区の将来像を明確にするために、この「田鶴野地区地域づくり計画書」を策定し、今後それを目標として地域における様々な事業を展開していきたいと考えています。

この「地域づくり計画書」の策定にあたっては、田鶴野地区全世帯への住民アンケートをさせていただき、そのアンケート結果をベースにしましたので、地域の皆様方の思い・ご意見等が反映されたものと思っています。

今後さらに、めざす姿の目標である『笑顔あふれる田鶴野・みんなにやさしい田鶴野』の実現をめざして、地域の皆様方のなお一層の「コミュニティたづるの」へのご参加とご支援を切望しまして、あいさつといたします。

コミュニティたづるの　会長　矢﨑　章司

コミュニティたづるの

＜ コミュニティたづるの旗 ＞

第1章　田鶴野地区の概要

1. 人口・世帯数の推移

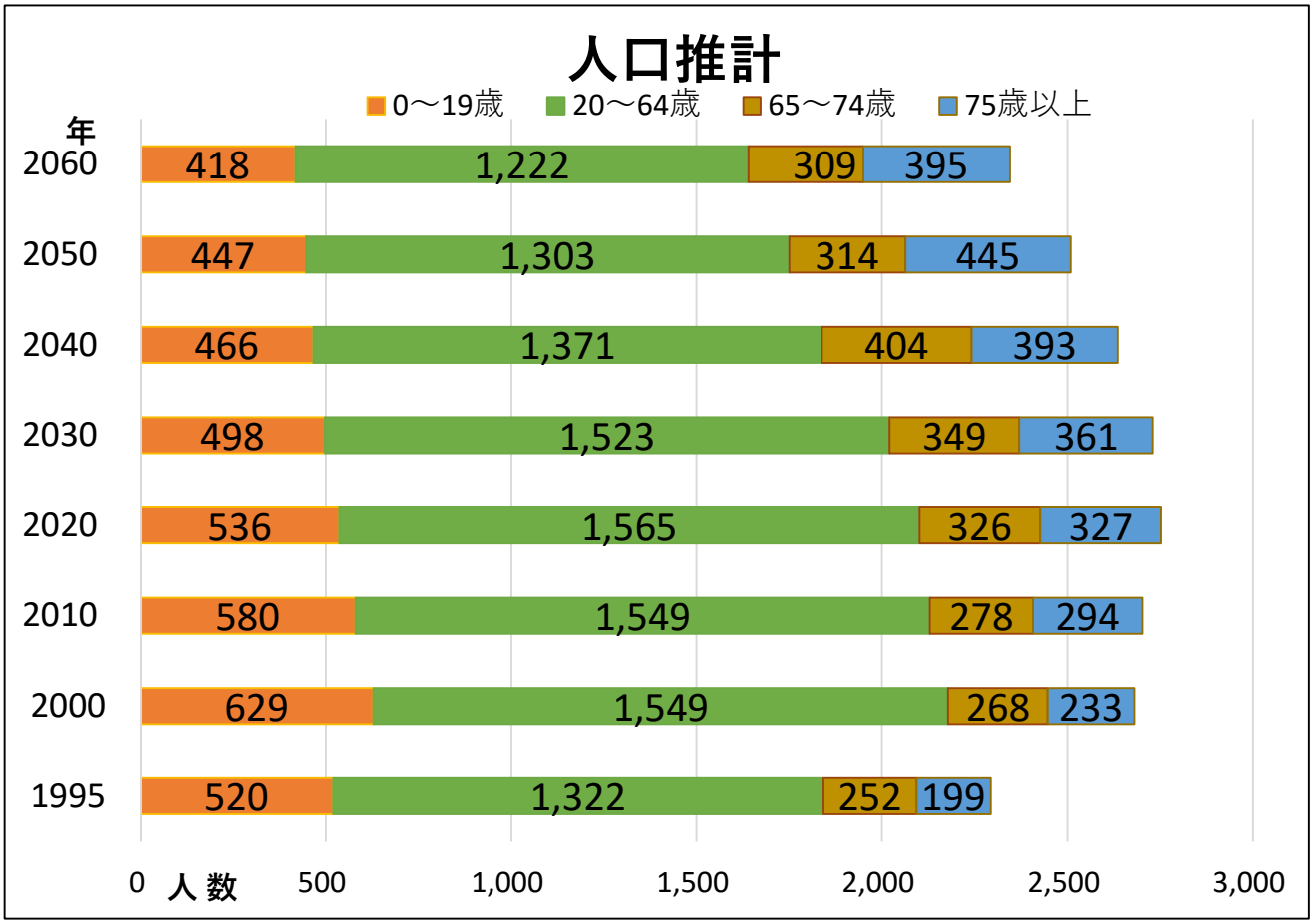
田鶴野地区の人口や世帯数・高齢化率などの推移から、このままでは地域における人と人とのつながりや、日々の生活環境を維持していくことが困難になってくる現状がみえてきました。

そこで、他地区との連携や、住民同士が協力し合い、我が事として取組みを実践することが必要となります。

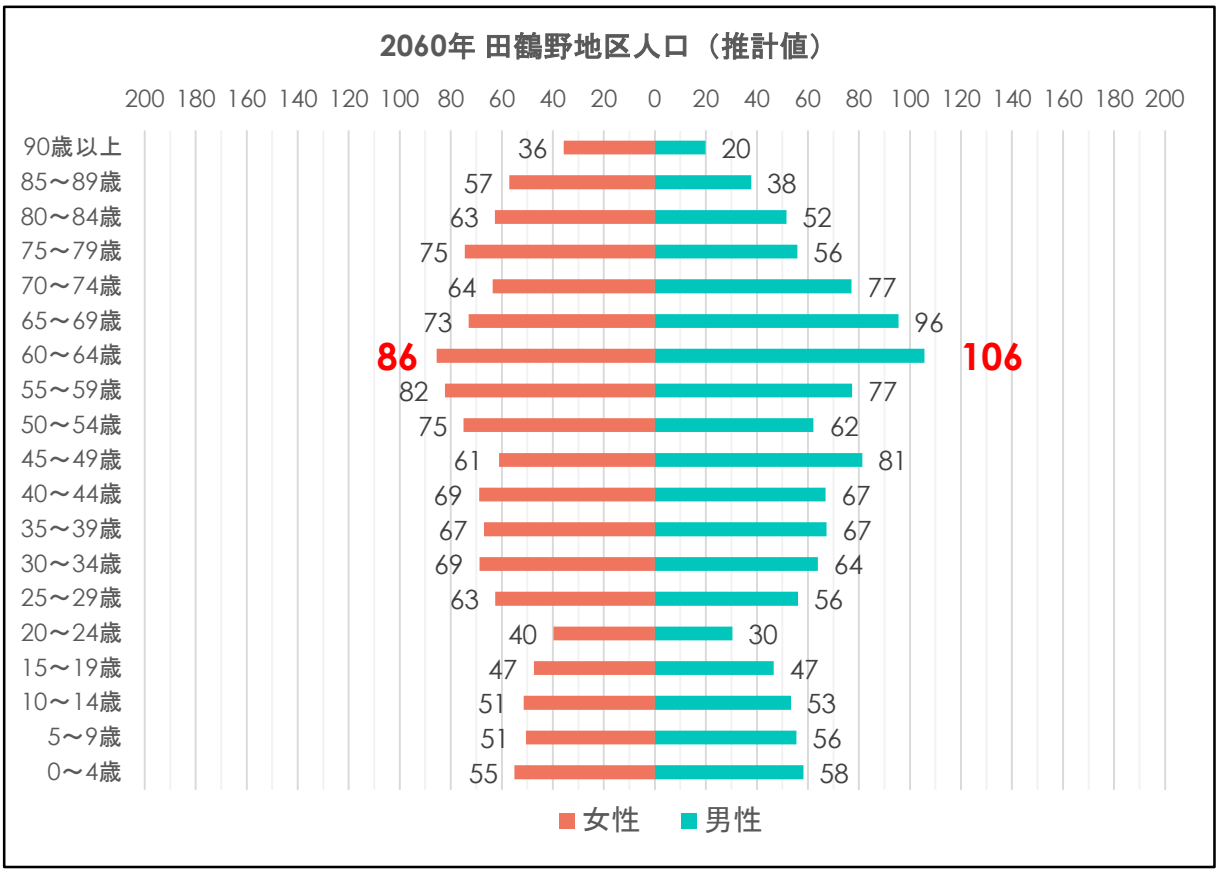
そのためには、コミュニティたづるのと区長会が一体となって、地域づくり計画を策定・実践し、持続可能なより良い地域づくりをめざすことが必要となります。

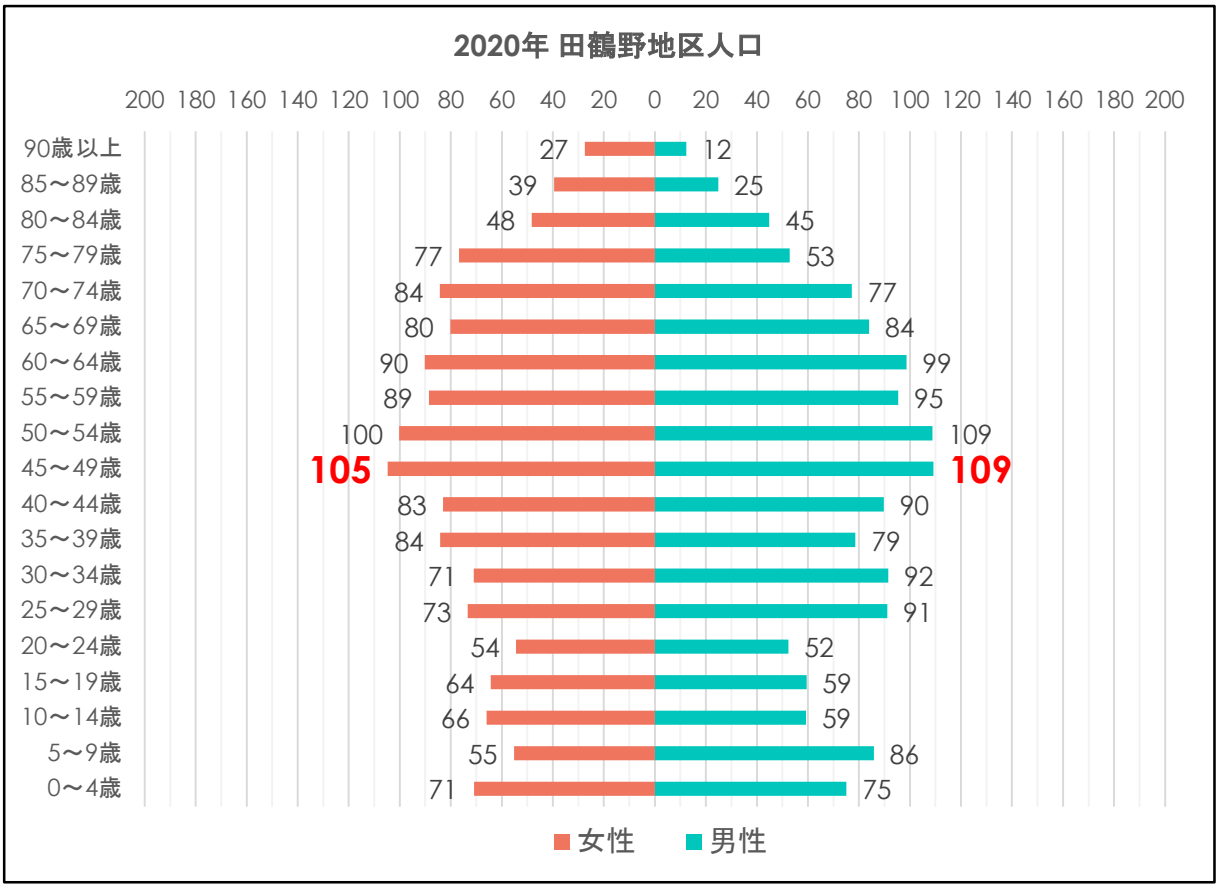
1995～2015年にかけて住宅開発が進み移住が増えて、田鶴野地区の人口が急増しました。

しかし、今後は 40～60 歳代の実働年齢世代が減少していく傾向がみられます。



【出典】2020 年 3 月　小地域人口推計より


2060年 田鶴野地区人口（推計値）
200 180 160 140 120 100 80 60 40 20 0 20 40 60 80 100 120 140 160 180 200
90歳以上 36 20
85～89歳 57 38
80～84歳 63 52
75～79歳 75 56
70～74歳 64 77
65～69歳 73 96
60～64歳 86 106
55～59歳 82 77
50～54歳 75 62
45～49歳 61 81
40～44歳 69 67
35～39歳 67 67
30～34歳 69 64
25～29歳 63 56
20～24歳 40 30
15～19歳 47 47
10～14歳 51 53
5～9歳 51 56
0～4歳 55 58
女性
男性


2020年 田鶴野地区人口
200 180 160 140 120 100 80 60 40 20 0 20 40 60 80 100 120 140 160 180 200
90歳以上 27 12
85～89歳 39 25
80～84歳 48 45
75～79歳 77 53
70～74歳 84 77
65～69歳 80 84
60～64歳 90 99
55～59歳 89 95
50～54歳 100 109
45～49歳 105 109
40～44歳 83 90
35～39歳 84 79
30～34歳 71 92
25～29歳 73 91
20～24歳 54 52
15～19歳 64 59
10～14歳 66 59
5～9歳 55 86
0～4歳 71 75
女性
男性

＊赤字は人口最多年齢層

2. 魅力・資源

田鶴野地区には、歴史的建造物や豊かな自然が数多く存在します。

この魅力ある資源を地域の活動に活用するため、コミュニティセンター来館者を対象とした「田鶴野地区内の魅力・資源」サンプリングアンケート（40 名）を実施しました。（令和 4 年 6 月～8 月実施）

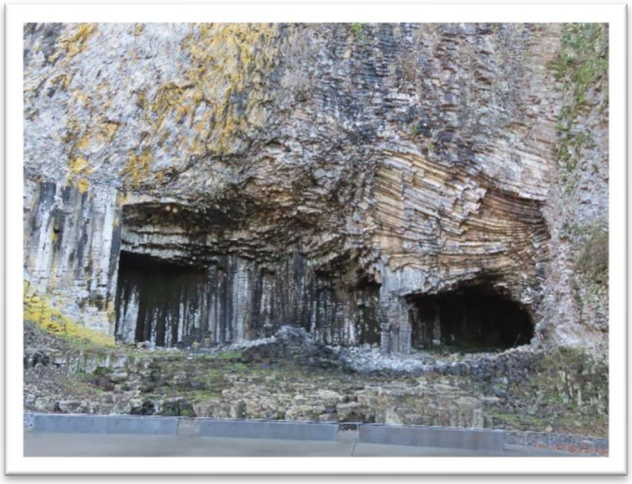
「魅力と思うところ（好きなところ）」では、円山川堤防からの景色やコウノトリ舞うのどかな水田風景、豊かな自然がありながらも市街地にも近い立地、ゆったりとした時間の流れなどがあがりました。

資源の部分では、「自然資源」で野生のコウノトリ、湿地や田んぼの生き物、円山川、玄武洞、河川敷のヨシ原など、また「建造物などの資源」では、神社仏閣やコウノトリ保護増殖センター、玄武洞スポーツ公園などがあがりました。

【円山川と来日山の景観】

【玄武洞スポーツ公園に降り立つ　こうのとり】

【玄武洞スポーツ公園湿地にて　生き物調査】



【玄武洞公園】

【玄武洞スポーツ公園 グラウンド】

【コウノトリ保護増殖センター】

◆田鶴野の指定文化財

指 定 区 分	対　　象	指定年月日	参考
コウノトリ	国指定特別天然記念物	S31.7	
玄武洞(青龍洞)	国指定天然記念物	S6.2.20	
帯雲寺の木造十一面観音立像	県指定文化財(彫刻)	S40.3.16	平安時代
金剛寺の宝篋印塔	県指定文化財(建造物)	S62.3.24	南北朝
足利尊氏寄進状	県指定文化財(歴史資料)	H4.3.24	南北朝
鶴城跡	市指定文化財(史跡)	H6.4.25	
金刀比羅神社のコブシ	県指定郷土記念物	H8.3.29	
	市指定文化財	H9.6.27	

第2章　計画策定にあたって～現状と課題（アンケート調査結果より）～

1. 現状

地域の現状を把握するために、令和2年12月19日から令和3年1月31日にかけて、田鶴野地区内の全世帯へ向けて『コミュニティたづるの 田鶴野地区「住民アンケート」』を実施しました。

（紙ベース回答は 582 件、オンライン回答が 187 件、合計 769 件の回答）

＜年代別、行政区別の回答数＞

10 代では 179 人中 16 名と約 1/10 の意見しかなく、60 代では 338 人中 185 名で約 1/2 の高い回答数を得ました。

また、行政区では赤石区の 65%が一番高い回答数で、次いで金剛寺区の約 57%と区によって回答率・関心率にバラツキがあることが分かりました。

＜コミュニティ行事に対する必要度と満足度＞

コミュニティたづるのが開催する、各行事や事業に対する必要度と満足度については、どちらの項目も値が低い人より高い人の方が多いことがわかりました。

さらに詳細に見ていくと、値が低い行事や事業は、団体や大人数で参加するものが多く、個人や仲間で参加できる事業や行事は、必要度も満足度も平均値より高いことが分かりました。

また、満足度はどの世代も「わからない」が比較的多いことから、**回答者の多くが各行事や事業に参加されたことがない**と推察されます。その中でも、必要度について「必要」「やや必要」の回答が多い行事や事業を見ると、交流や健康・防災を主たる目的とした内容が高く、満足度については運動健康ポイントの学校への寄附が高くなっています。

以上の結果、**回答者の多くは各行事や事業を「必要」または「やや必要」と捉えていますが、満足度については「わからない」が多い**ことから、現行事や事業に対してより多くの方々に参加し評価してもらえるよう、各行事や事業の内容や仕組みづくりについて、検討が必要であると判断されます。

＊詳しいアンケート結果は、
web 上にて全文掲載しております。

2. 課題

地区住民の困りごとや、必要であることを抽出しました。

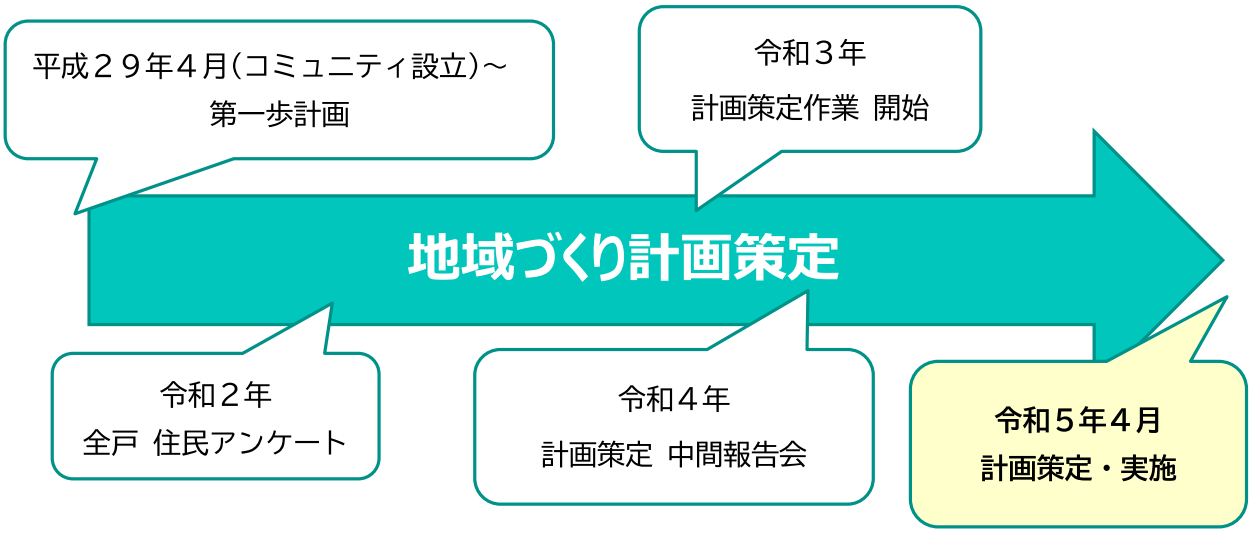
アンケート結果から、「**コミュニティが関わるべき課題**」を絞り込み、解決・実現することを目的とした事業を盛り込んだ、新しい地域づくり計画が必要となりました。

- **健康維持に関すること(136)**
- **子育てに関すること(38)**
- **人間関係に関すること（顔の見える関係）(59)**
- **災害への備えや避難に関すること(257)**
- **買い物・通院などの移動手段に関すること(99)**
- **区の日役などに関すること(157)**
- **介護に関すること（看病や世話をしてくれる人がいないなど）(80)**

＊（ ）内数字は回答数

第3章　将来像

1. 策定までの流れ



2. めざす姿

目 標	笑顔あふれる田鶴野・みんなにやさしい田鶴野			
キャッチフレーズ	明るく元気な田鶴野		支え合い、助け合う田鶴野	命を大切にする田鶴野
目 的	・健康で良好な人間関係を築く ・積極的な事業への参加		・買い物・通院など移動の確保 ・介護・見守り・子育ての推進	・災害の備えや避難への対応 ・防犯の実践
内 容	人間関係に関すること （顔の見える関係）	健康維持に関すること	・買い物・通院などの移動に関すること ・介護に関すること ・子育てに関すること	・災害への備えや避難に関すること ・防犯に関すること

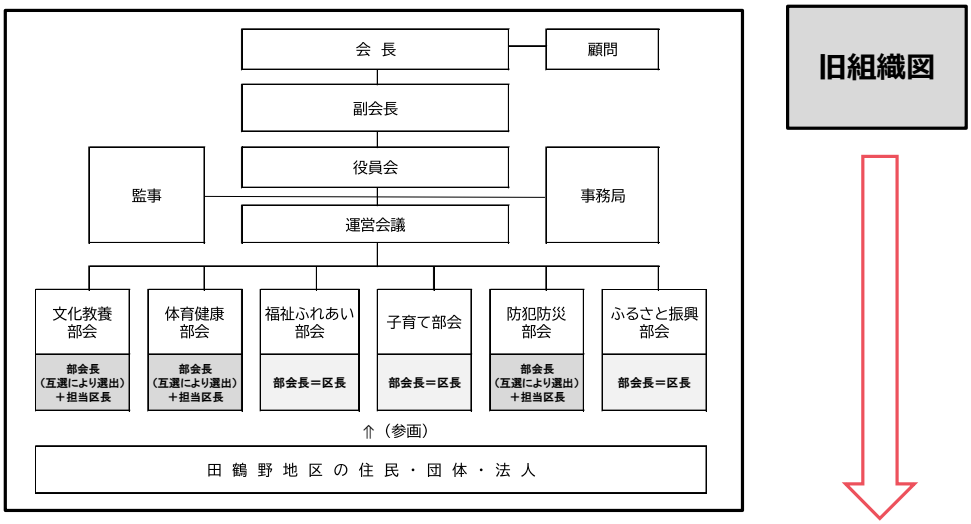
⇩

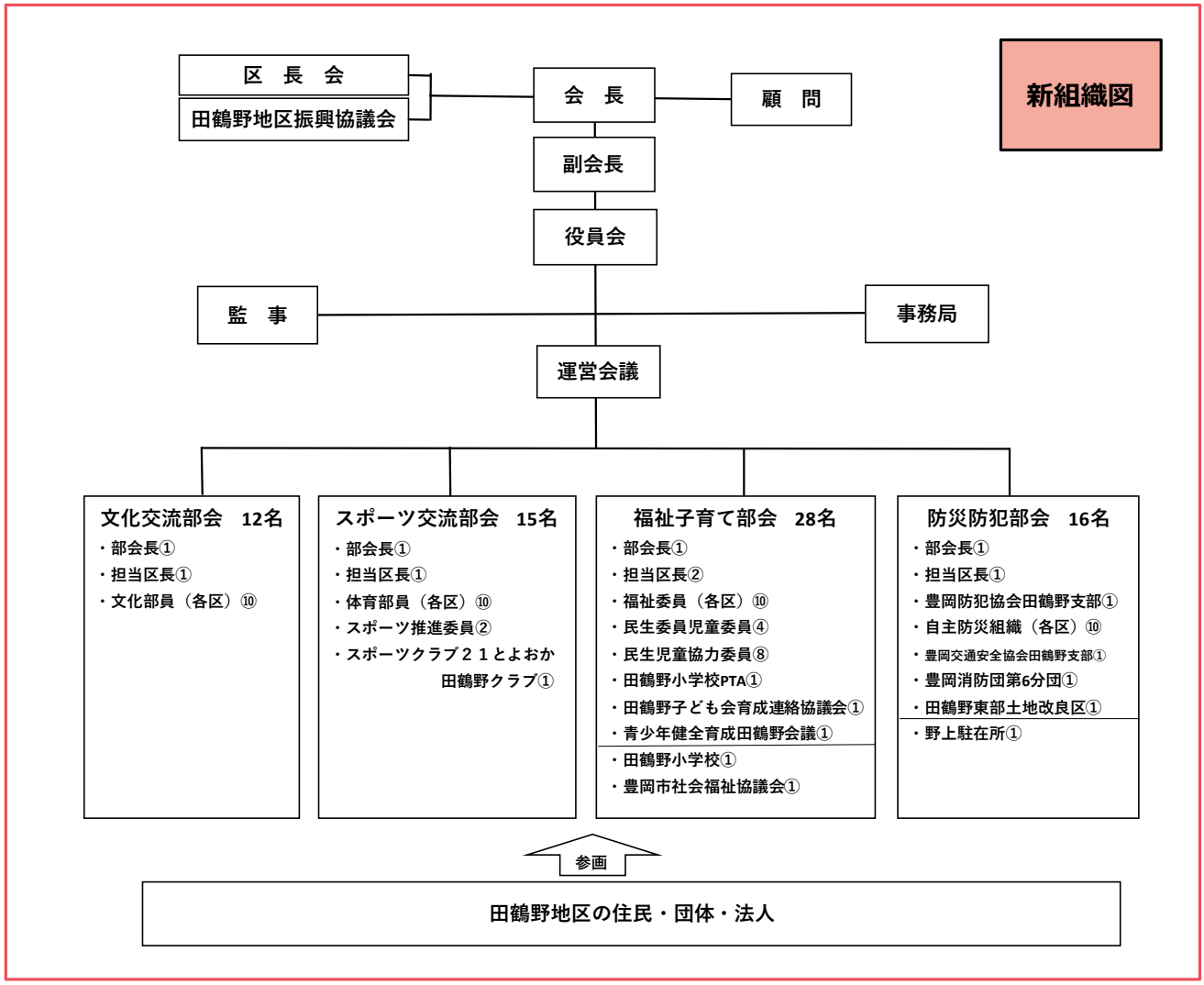
10年後の姿	積極的に住民が交流できている	心豊かに暮らせている	・各自避難体制が出来ている （自助） ・地域で助けあいができている （共助）

第4章　具体的な取組み

1. これからのコミュニティたづるの

（1）新しい組織体制（組織図）





（2）事業計画予定表

具体的な事業を提案しながら、地域住民全員で課題解決に向かって進んでいきます。

以下は、そのための計画予定表です。

目標　笑顔あふれる田鶴野・みんなにやさしい田鶴野

キャッチフレーズ：明るく元気な田鶴野

目的：健康で良好な人間関係を築く / 積極的な事業への参加

部会	事　業	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年	R12年	R13年	R14年
文化交流部会	地区文化祭	実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			
	たづるのギャラリー	実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			
	新しい文化交流事業	調査・検証			実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			

見直し／部会開催・ヒアリング等　　見直し／部会開催・ヒアリング等　　見直し／部会開催・ヒアリング等

キャッチフレーズ：明るく元気な田鶴野

目的：健康で良好な人間関係を築く / 積極的な事業への参加

部会	事 業	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年	R12年	R13年	R14年
スポーツ交流部会	区民大運動会	実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			
	こうのとりマラソン大会	実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			
	3世代交流 グラウンドゴルフ大会	実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			
	たづるのスポーツ交流会	実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			
	新しいスポーツ交流事業	調査・検証			実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証			

見直し／部会開催・ヒアリング等　　見直し／部会開催・ヒアリング等　　見直し／部会開催・ヒアリング等

キャッチフレーズ：支え合い、助け合う田鶴野

目的：買い物・通院など移動の確保 / 介護・見守り・子育ての推進

部会	事 業	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年	R12年	R13年	R14年
福祉子育て部会	福祉連絡会	実施・検証			見直し／部会開催・ヒアリング等	見直しを踏まえて実施・検証		見直し／部会開催・ヒアリング等	見直しを踏まえて実施・検証		見直し／部会開催・ヒアリング等
	高年部日帰り研修	実施・検証				見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証		
	たづるのサロン	実施・検証				見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証		
	田鶴野っ子チャレンジ教室	実施・検証				見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証		
	こども縁日	実施・検証				見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証		
	新しい福祉子育て事業	調査・検証				見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証		

キャッチフレーズ：命を大切にする田鶴野

目的：災害の備えや避難への対応 / 防犯の実践

部会	事 業	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年	R12年	R13年	R14年
防災防犯部会	防災避難訓練	実施・検証			見直し／部会開催・ヒアリング等	見直しを踏まえて実施・検証		見直し／部会開催・ヒアリング等	見直しを踏まえて実施・検証		見直し／部会開催・ヒアリング等
	防災研修	実施・検証				見直しを踏まえて実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証		
	防犯パトロール	調査・検証				実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証		
	新しい防災防犯事業	調査・検証				実施・検証			見直しを踏まえて実施・検証		

《 参考資料 》

【 策定の経過 】

・令和２年12月～令和３年１月　住民アンケート実施
・令和３年２月～　住民アンケート集計・分析
・令和３年４月25日 ・ ９月25日(2回)
　　コミュニティたづるの通信　4/25号 アンケート結果速報１
　　コミュニティたづるの通信　9/25号 アンケート結果速報２
・令和３年　12月２日　地域づくり計画策定作業委員会設置
・令和３年　１月　地域づくり計画準備開始
・令和４年　１月８日　第１回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　２月６日　第２回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　３月12日　第３回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　４月 ２日　第４回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　５月14日　第５回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　６月 ４日　第６回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　７月 2日　第７回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　９月10日　第８回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　10月 １日　第９回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　10月22日　第10回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　11月12日　第11回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　11月18日　第12回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和４年　11月30日　役員会　地域づくり計画 中間報告
・令和４年　12月10日　第13回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和５年　１月21日　第14回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和５年　２月18日　第15回 地域づくり計画策定作業委員会
・令和５年　３月 １日　役員会　地域づくり計画 報告・承認
・令和５年　３月25日　第16回 地域づくり計画策定作業委員会

【 策定組織 】

＜ 策定作業委員会 ＞

コミュニティたづるの　顧問（2 人）

会長

副会長（2 人）

事務局（3 人）

<役員会>（策定作業委員会メンバーを除く）

コミュニティたづるの　文化教養部会長

文化教養部会担当区長

体育健康部会長

体育健康部会担当区長

福祉ふれあい部会長

防犯防災部会長

防犯防災部会担当区長

ふるさと振興部会長

会計

監事（2 人）

＜ 協力機関 ＞

豊岡市社会福祉協議会

一般社団法人ちいきのて